

解析対象となる病態分類の追加について

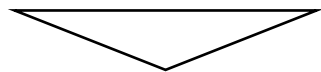
【現行病態分類】

- ① 嘔吐・嘔気、② 発熱、③ 呼吸障害、④ けいれん・麻痺 → 協議様式上のメイン分類
 ⑤ めまい、⑥ 動機、⑦ 意識不明、⑧ 虚脱・脱力感、⑨ 吐血・鼻出血 → //
- ⑩ 頭痛、⑪ 発疹、⑫ 下痢・血便 → 令和 7 年度現在解析対象として非稼働

◇システム上は、上記の 1 2 の病態分類コードがある

◇現状は、システム稼働当初からの解析対象である①～⑨の分類コードで運用中。

◇⑩～⑫の 3 病態分類コードは、平成 2 2 年度に追加され、搬送情報の蓄積はしているが解析対象として非稼働。



○⑩～⑫の病態分類は、昨年都内で警戒された「麻しん」や「腸管出血性大腸菌」など、海外から持ち込まれる可能性も高い感染症による感染疑いも迅速かつ積極的に検出していくために必要と考える。

○非稼働の 3 分類コードも、追加後 10 年以上経過し、搬送情報も十分蓄積されたと考えるため、解析対象として追加し、運用していく。（健康安全研究センターとも確認済。）

※令和 8 年度運用開始に向け準備していく。

【参考】 運用実績（2024年12月から2025年11月までに発生したアラート回数） ※ 3 病態分類追加ver

監視区域 警報レベル	計 (3病態除く)	計 (3病態含む)	嘔吐・嘔気	めまい	動悸	意識不明	呼吸障害	発熱	けいれん・麻痺	虚脱・脱力 感	吐血・鼻出 血	発疹	頭痛	下痢・血便
警報レベル3 合計	16002	20721	2897	2036	577	2830	2540	1771	1425	1059	867	274	1679	2766
月平均	1333.5	1726.8	241.4	169.7	48.1	235.8	211.7	147.6	118.8	88.3	72.3	22.8	139.9	230.5
月平均(前年同時期)	1264.8	1663.0	226.3	161.1	45.5	235.6	195.6	131.3	115.3	83.4	70.3	24.7	139.6	234.0
警報レベル4 合計	4523	6542	853	718	104	1185	797	191	298	145	232	168	488	1363
月平均	376.9	545.2	71.1	59.8	8.7	98.8	66.4	15.9	24.8	12.1	19.3	14.0	40.7	113.6
月平均(前年同時期)	357.3	522.4	67.8	57.0	8.6	97.7	59.9	12.8	25.7	10.7	17.2	14.2	37.8	113.2
警報レベル5 合計	1122	2850	137	265	19	398	195	27	55	12	14	404	464	860
月平均	93.5	237.5	11.4	22.1	1.6	33.2	16.3	2.3	4.6	1.0	1.2	33.7	38.7	71.7
月平均(前年同時期)	94.8	237.8	16.2	21.5	1.4	29.8	16.8	1.7	4.9	2.0	0.5	34.8	38.5	69.7
総計(レベル3~5)	21647	30113	3887	3019	700	4413	3532	1989	1778	1216	1113	846	2631	4989
月平均	1803.9	2509.4	323.9	251.6	58.3	367.8	294.3	165.8	148.2	101.3	92.3	70.5	219.3	415.8
月平均(前年同時期)	1716.8	2423.2	310.2	239.6	55.5	363.1	272.3	145.8	145.8	96.1	88.5	73.6	215.9	416.8

○資料4の運用実績に、3病態分類を参考データとして追加したものである。

○「発疹」、「頭痛」、「下痢・血便」ともに各警報レベルでアラート回数を記録しており、特に「下痢・血便」の総計は、各病態分類の数値の中でも最も高いものとなっている。

○但し、資料5の異常集積疑い事例に該当する事案（同一の日時・場所で3名以上の搬送）は、3病態分類とも通年で見ても該当はなく、令和8年度以降追加しても保健所・医療機関等関係機関への負担は大きくならないものとする。